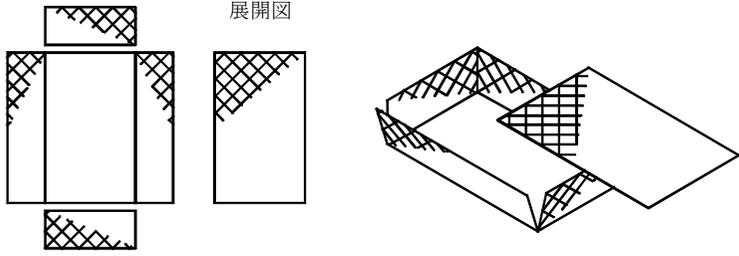
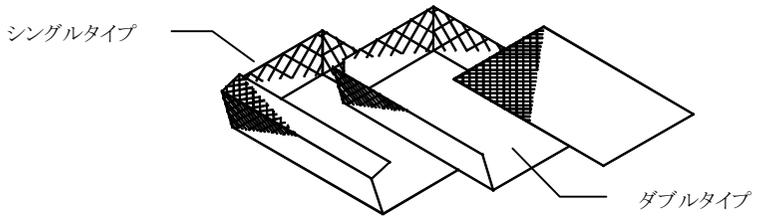


# パネル式ふとんかご ・ かごマット(多段式) 比較表

	パネル式ふとんかご	かごマット(多段式)
仕様書	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 日本工業規格 <b>JIS A 5513</b> じゃかご（亜鉛・アルミニウム合金めっき鉄線を使用する場合は、国土交通省及び地方自治体の共通仕様書による）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 河川災害復旧護岸工法技術指針(案) 全国防災協会</li> <li>■ 国土交通省特記仕様書</li> </ul>
構造	<p>パネル状の金網で構成される、独立型の箱形かご。</p> <div style="text-align: center;">  <p>展開図</p> </div>	<p>パネル状の金網で構成され、隣接するかごの仕切り面を共用する、連結型の箱形かご。ステップ部のみに蓋があるシングルタイプと、全蓋のダブルタイプがある。</p> <div style="text-align: center;">  <p>シングルタイプ</p> <p>ダブルタイプ</p> </div>
寸法	<p>網線： 3.2、4.0、5.0、6.0mm                      網目： 50、65、75、100、130、150mm                      高さ： 25、30、40、50、60cm                      幅： 80、100、120、150cm                      長さ： 2、3、4m</p>	<p>本体： 網線 4.0mm、網目 100mm                      正面： 網線 5.0mm、網目 65mm                      上蓋： 網線 5.0mm、網目 65mm                      高さ： 50cm                      幅： 100cm                      仕切間隔： 2m 以下</p>
材質	<ul style="list-style-type: none"> <li>n 亜鉛めっき鉄線</li> <li>n 亜鉛・アルミニウム合金めっき鉄線(本格使用向け)</li> <li>n アルミニウムめっき鉄線、合成樹脂被覆鉄線(海岸、温泉地帯向け)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>n 亜鉛・アルミニウム合金めっき鉄線</li> <li>n 亜鉛・アルミニウム・マグネシウム合金めっき鉄線</li> <li>n 合成樹脂被覆鉄線</li> </ul>
組立て方法	工場で加工されたパネル状の金網を、施工現場にて結合コイルを用いて箱形に組み立てる。	「パネル式ふとんかご」と同様であるが、組み立て時にかご同士を連結する。
中詰め方法	重機にて行うが、仕上げを作業員が手詰めする。	「パネル式ふとんかご」と同様。
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>n かごの高さと幅の組み合わせが多く、設計断面の自由度が高い。</li> <li>n かご自体が柔軟構造であり、地形の変化に追従して法面を保護する。</li> <li>n 法面の勾配変化や法長変化に柔軟に対応できる。</li> <li>n かごが独立しているため、撤去や補修が容易であり、メンテナンス性に優れる。</li> <li>n 平成 17 年度より、国土交通省及び地方自治体の共通仕様書等で、従来の亜鉛めっき品に加え、亜鉛・アルミニウム合金めっき品の規定がすすんでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>n かごの高さ 50cm、幅 100cm、ステップ部 25cm/50cm が決まっており、設計断面の積み勾配は 1:0.5、1:1.0 が標準。</li> <li>n かご全体が連結された一体構造であり、柔軟性も有する。</li> <li>n 上蓋の網目が細かく滑りやすいため、転倒防止として粗面めっき鉄線を使用する。</li> </ul>
主な用途	法覆工、根固工、床止工、排水工、水制工、土留工	法覆工、根固工、床止工